

政府に大きな声で辺野古断念を迫ろう！

日本政府に辺野古新基地建設断念を求める申し入れ書への賛同をお願いするにあたって

「辺野古に土砂を送らせない！」山口のこえ
代表 大谷正穂

状勢

防衛省は辺野古基地建設に向け8月17日からの土砂投入を宣言していましたが、いまだ着手できていません。県知事選前に既成事実を積み重ね、沖縄県民の諦めを誘う作戦は失敗しました。沖縄県は県民の声に押されて「撤回」にふみきりました。防衛省は守勢にたっています。故翁長県知事が命をかけて手繰り寄せた状況です。

闘いは生きものです。この状勢を活かしての攻勢的な運動を展開するときです。

目的

辺野古新基地建設に沖縄県は「承認撤回」のカードを切りました。撤回後は県と政府との攻防になります。撤回は政治的に県の取れる最後の手です。

この政治戦を、私たちはなすすべなく見守るだけでいいのでしょうか。「承認取り消し」のときがそうでした。あの二の舞を踏んではならないと思います。今は「観客」ではいけない時です。沖縄県外の市民が当事者になって頑張り、辺野古新基地を造ろうとする安倍政権に「辺野古断念」の世論を可視化させ迫る時です。

辺野古に反対するすべての政治勢力、労働組合、市民グループ、個人が力を合わせ、政府に「辺野古断念」を求める行動をおこしましょう。山口の取り組みが全国に広がるように努力します。

方法

- ①辺野古新基地建設に反対する山口県内の政治勢力、労働組合、消費者団体、市民グループに私たちが用意する「政府への申し入れ書」に期限を設け賛同を求める。
- ②集まった申し入れ賛同団体・個人などを記者発表する。
- ③下関市の安倍事務所を訪れ（マスコミ同行）、申し入れ書を手渡す。

賛同を求める団体等

政治勢力 日本共産党県委員会、社民党県連合、国民民主党県連、立憲民主党県連
(準)、新社会党県委員会

労働組合 平和フォーラム傘下県本、単組、分会 県労連傘下県本、単組、分会

消費者団体 山口中央生協、グリーンコープ生協

市民グループ 念仏者九条の会・山口、日本基督教団中国地区基地問題委員会、趣味のサークルなどを思いつく限り協力を求めます。